



いつまでも地域で仲間とたのしく！

福川地区社協では、月に2回「ふくふくサロン」を開催しています。コロナが流行しているときは、活動が中止になることもありましたが、参加者はとても楽しみにされ、担い手の方々もやりがいを感じています。サロンでは、お花見に出かけたり、手芸やゲーム、クリスマス会など、楽しい行事が目白押しです。サロンの時だけではなく、日頃から気軽に声をかけあい地域の仲間を増やしていく、そんなきっかけの一つになることを願っています。



福祉員とは

民生委員児童委員や町内会長などの推薦により、萩市社会福祉協議会会長から委嘱を受けて活動する「小地区福祉活動の推進者」です。民生委員児童委員やボランティアなどと協力して地域の福祉問題を発見し、解決する担い手として、また住民の皆さんに地域福祉活動への参加の働きかけを行うなど、地域で大きな役割を担っています。

近所のおばあちゃん、
元気がなさそう。
見かけることも
今までより減った気がするわ。
民生委員さんにも
相談してみようかしら。



福祉員

福祉員さんの活動事例

ごみ捨ての時に、近所の気になる一人暮らしのおじいちゃんをよく見かけるので、なるべく話かけるように意識しています。たわいもない話から生活の様子や困ったことがないか聞いて、ゆるやかな見守りができるようにと思っています。

この前はごみの分別に困っているようだったので、一緒に確認しました。そのことを地区社協にも相談したら「一度みんなでごみの分別について学んだらいいね」という意見があり、地区社協主催で研修会を開催しました。同じようにごみの分別方法が分からなくて困っている方や、地域の担い手として活動している方に参加をしてもらい、みんなで考えるきっかけとなりました。

普段から近所の気になるお宅の様子を民生委員児童委員や町内会長、地区社協にも相談したりと、無理のない範囲で活動しています。

本会では、地域の見守り活動を進めるための、ポイントやチェックリストを掲載した冊子『見守り・支えあい活動のすすめ』を作成しています。地域で活用希望があればお問い合わせください。



福祉員の役割

＊ みつける

日常生活や地域行事を通じて、地域の気になる人や困っている人をみつけることが活動の第一歩です。

地域の中での「あいさつ」や「声かけ」など、日ごろからのつながりが大切です。

＊ しらせる

困りごとを発見した際は、本人の了解のもと民生委員児童委員や社会福祉協議会、行政などの関係機関に連絡します。支援が必要な方や家庭のSOSに早く気づくことで、早期対応・早期解決につながる場合もあります。

＊ ひろめる

福祉に関する研修会等で知り得た暮らしに役立つ情報や、福祉サービスなど必要な情報を地域の方へ伝えます。また、地域住民の皆さんに福祉活動への参加を呼びけることも大切な役割です。

＊ つなげる (つながる)

地域行事への参加や、ふれあい・いきいきサロンに協力することで、普段からの地域住民とのつながりを持ち、地域の情報や実情を把握します。また、地域で暮らす誰もが孤立することのないよう、人と人とのつながりづくりも行っています。



少子高齢化に伴い、高齢者世帯の増加など支援を必要とする方が増えるなか、地域の福祉活動に携わる方や関係機関と協力しながら地域の実情に応じた福祉活動が実施されています。

本会では、“お互いに顔が見える地域づくり”に取り組んでおり、住みたい地域で、誰もが安心して心豊かに暮らし続けることのできる地域を目指しています。人と人とのつながりの輪を広げ、地域住民が自分の住む地域や人を互いに見守っていくことができるよう“あなたのそばの福祉員さん”と一緒によりよい地域づくりにご協力をお願いいたします。

善意銀行 ありがとうございます

香典返し・玉串料返し・花料返し

寄付者の承認を得たもののみを掲載しています。
※令和5年3月1日～令和5年4月30日受付分（敬称略）

氏名	住所	備考	金額
萩			
松浦 清尊	上野の1	母／マサコ	金一封
波多野 静子	無田ヶ原の3	母／タマヨ	金一封
長田 知久	見島9区	父／孝一	金一封
杉山 文子	三見手水川	夫／常夫	金一封
江水 静枝	見島1区	夫／昭喜	金一封
河村 弘春	川島2区の2	父／富雄	金一封
関屋 義和	椿（大屋）	母／節子	金一封
村田八重子	中津江の1	夫／政治	金一封
渡辺 健一	平安古東区の1	父／建良	金一封
古谷 初男	大井港中	母／ミサヲ	金一封
磯部 誠	三見明石	父／栄作	金一封
河村 敏江	三見市	夫／雅志	金一封
藤山智恵美	玉江浦1区	母／明賀勢津子	金一封
田万川			
山本 幸夫	小川1区	母／照子	金一封
波田野幸人	小川12区	妻／光子	金一封
大谷 美穂	大久保	母／好恵	金一封
村中 秀二	江津	父／毅	金一封
中尾 裕司	江津	母／淳子	金一封

氏名	住所	備考	金額
屋敷 照子	弁天	母／フジエ	金一封
市川 節子	小川5区	夫／義祐	50,000円
むつみ			
松田 桂子	宮廻	長男／心司	金一封
波多野 昭子	小国	夫／左一	金一封
野原 健児	花見	母／栄	金一封
須佐			
笠内 榮子	上三原	夫／務光	金一封
福田 明二	入江	母／洋子	金一封
波田美恵子	山根丁東	母／岡本ハナ子	金一封
久原 辰則	高山	母／操	金一封
林 一二三	弥富7区	母／千枝子	金一封
旭			
倉重喜久男	長瀬	母／ウメ子	金一封
伊藤 一夫	鉾切	母／澄子	金一封
福栄			
大田 宏樹	堂ヶ迫	祖母／イチヨ	金一封
鈴木 憲和	生野	父／和夫	金一封
阿武 幸輝	下薙野	夫／均	金一封

一般寄付

氏名	住所	備考	金額
萩			
ささえあいみずぐるま	江向4区の2	社会福祉へ	2,000円
匿名		社会福祉へ	10,000円
匿名		社会福祉へ	11,800円
匿名		社会福祉へ	10,000円

氏名	住所	備考	金額
田万川			
多磨小学校3年生一同（令和4年度）		社会福祉へ	20,000円
福栄			
平蔵台部落	平蔵台	社会福祉へ	金一封

（香典返し・一般寄付合計 41件 1,274,930円）

善意銀行は地域福祉活動推進の貴重な財源になっています。どうかご協力ください。

お知らせ

夏休み限定企画！あつまれみんなの交流カフェ

夏休みの工作にいかがですか？オリジナルうちわを作りながらエコについて学びましょう。みんなでお昼を食ったり、ゲーム大会をしたり、楽しく過ごして思い出作りにも♪子どもから高齢者までたくさんのご参加をお待ちしています！

日時 7月27日（木）10：00～15：00

*参加は何時からでも。飛び入り参加も歓迎です。

場所 萩市総合福祉センター2階 交流カフェ

内容 SDGsについて学びながらオリジナルうちわづくり
（①10：00～ ②11：00～ どちらか選択）

【講師】山本 裕子さん（NPO法人エコプラザ萩）

【食事】カレーライス ※アレルギー対応なし

【ふれあいゲーム大会】eスポーツ、さかな釣り、輪投げ、トランプなど *景品あり

昼食代 200円

定員 【講座】各15名程度 【食事】50食
その他 中学生・高校生ボランティアを募集します！
詳しくは下記申込み先へお問い合わせください。
申込み 7月18日（火）までにQRコード
または萩市ボランティアセンター
☎0838-22-2289



第21回 法と福祉のセミナー

地域福祉と法律相談センターをつなぐことを目的として、「法と福祉のセミナー」が毎年開催されています。今年も身近な法律や福祉の問題を、分かりやすく説明されます。

日時 6月30日（金）14：00～16：00

場所 萩市総合福祉センター 多目的ホール

内容 「ヤングケアラーの理解を深める」

入場料 無料

申込み 萩・長門法律相談センター ☎0838-24-0500

萩市東部集中豪雨災害10年記念事業 『7.28共に祈り つなげよう未来へ』

平成25年7月28日の萩市東部集中豪雨災害から10年が経過しようとしています。大きな被害をもたらした災害の経験と教訓を風化させないために、10年を節目に「7.28共に祈り つなげよう未来へ」をテーマに2つのイベントを開催します。

また、開催にあたり10年記念事業のロゴマークを募集します。この記念事業をとおして、改めて災害の経験や教訓、災害への備え、互いに支えあう大切さなどについて、自分事として捉え、ともに考え輝く未来に向かって、次の世代へ繋いでいきます。

第1弾

7.28共に祈り つなげよう未来へ 萩市災害ボランティア講座

- 日 時** 8月5日（土） 9：30～14：30
場 所 萩市小川交流センターみのり
内 容 ①講義『災害ボランティアの10年間の変遷』
災害NGO結 代表 まえはら とむ さん
②ワークショップ

第2弾

7.28共に祈り つなげよう未来へ ありがとうご縁ウォーク

- 日 時** 10月9日（月・祝） 9：00～14：30
場 所 弥富～須佐 *集合場所は育英小学校
内 容 ①ご縁ウォーク
●気軽に♪楽しく3kmコース
●チャレンジ！じっくり10kmコース
②ゴール後、育英小学校でビンゴや餅まきなどのイベントがあります。

萩市東部集中豪雨災害10年記念事業 ロゴマーク募集

- 応募内容** ●趣旨に合うデザインとしてください。
●オリジナル、未発表の作品に限ります。
応募資格 ●山口県内に在住の方。
応募期間 ●5月15日（月）～6月20日（火）
当日消印有効

詳しくは、萩市東部集中豪雨災害10年記念実行委員会（萩市社会福祉協議会 ☎0838-22-2289）へお問い合わせいただくか、萩市社協ホームページの新着情報よりご確認のうえお申し込みください。右記QRコードから萩市社協ホームページにアクセスできます。



教育支援資金貸付のご案内

生活福祉資金貸付制度の中に、教育支援資金の貸付があります。これは、低所得世帯に属する者が、高等学校や大学、専門学校などに就学あるいは入学に際して必要な経費を無利子で貸し付けるものです。

資金の種類	貸付上限額	据置期間	償還期間
教育支援費	ア、高等学校／月額3.5万円以内 イ、高等専門学校／月額6万円以内 ウ、短期大学 （専修学校専門課程を含む）／月額6万円以内 エ、大学／月額6.5万円以内 ※ア～エにつき、特に必要と認められる場合に限り、 貸付上限額の1.5倍まで申込可能	卒業年の 4月25日から 6ヵ月以内	据置期間経過後 20年以内
就学支度費	50万円以内		

- ・修学する本人が資金の借入申込者（借受人）、世帯の生計中心者（主に親）が連帯借受人となります。
- ・貸付には審査があるため、各学校の納入期限に間に合うよう余裕をもってお申込みください。

お問い合わせ先／相談支援課 ☎0838-22-2289

新入職員の紹介

地域福祉課
防災コーディネーター 井上 麻衣



個別避難計画作成支援業務を担当します。災害に強い地域づくり・災害被害者ゼロを目指し、地域の皆さまのお話を伺うことに重きを置いて取り組んでいきます。これからよろしく願いいたします。